

分娩料、新生児介補料 などの料金について

国立循環器病研究センターにおける、分娩料、および新生児介補料等(自費負担をお願いしています)につきましては、下記のとおりとなります。

分娩料	分娩時間		料金(1児あたり)	
	平日	時間内 8:30~17:14	360,000円	非課税
		時間外 17:15~21:59、6:00~8:29、土曜日の深夜以外	380,000円	
		深夜 22:00~5:59	400,000円	
休日	日・祝日および年末年始			
<p>※無痛分娩麻酔を実施する場合、上記料金の150,000円の加算となります。</p> <p>※無痛分娩に係る麻酔科外来の診察料金は、1回あたり5,000円です。</p> <p>※出産に関する医療費は原則、保険適用外の自費負担となります。</p> <p>※上記分娩料のほか、入院基本料、検査・薬剤料、食事代などが別途かかります。</p> <p>※帝王切開や疾患を伴う出産などの場合、入院基本料は保険適用となります。</p> <p>窓口で保険証、限度額適用認定証(窓口負担が高額になることがあるため)の提示を必ずお願いいたします(分娩料は別途かかります)。</p> <p>※分娩料には「産科医療補償制度」掛け金12,000円を含みます。従いまして、当該制度の対象外である22週未満分娩の場合、上記より12,000円の減額となります。</p> <p>※多胎分娩の場合、上記分娩料×分娩児数の適用となります。</p> <p>※プロウベスを使用した場合、上記料金に20,000円の加算となります。</p>				

新生児入院
<ol style="list-style-type: none"> 生まれた赤ちゃんに入院加療が必要となった場合、保険適用となりますので、保険証、医療証等がお手元に届いたらご提示ください。 上記以外の場合、生まれた赤ちゃんについては新生児介補料(自費)として出産日は30,000円、2日目以降は1日あたり15,000円を負担していただきます。※新生児介補料には、出生時の処置料、一般的な検査料、赤ちゃんのベッド代、お世話代並びにミルク代などを含みます。 ビタミンK欠乏性出血症の予防のために、ケイツーシロップを投与します。入院中から投与を開始して、退院後の分は退院時にまとめてお渡しします。薬剤料(自費)として1,100円(課税)を負担していただきます。

令和7年7月